

2023年3月期

決算説明資料

※本資料に記載された意見や予測につきましては、資料作成時点での弊社の判断に基づき作成したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。また、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績や結果とは異なる場合があります。

※掲載されている会社名と製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

1. 2023年3月期 業績概要
2. 2024年3月期 事業方針
3. 2024年3月期 業績予想
4. 株主還元
5. 参考資料



1. 2023年3月期 業績概要

大型請負案件の受注が堅調に推移し増収 営業利益、経常利益が伸長

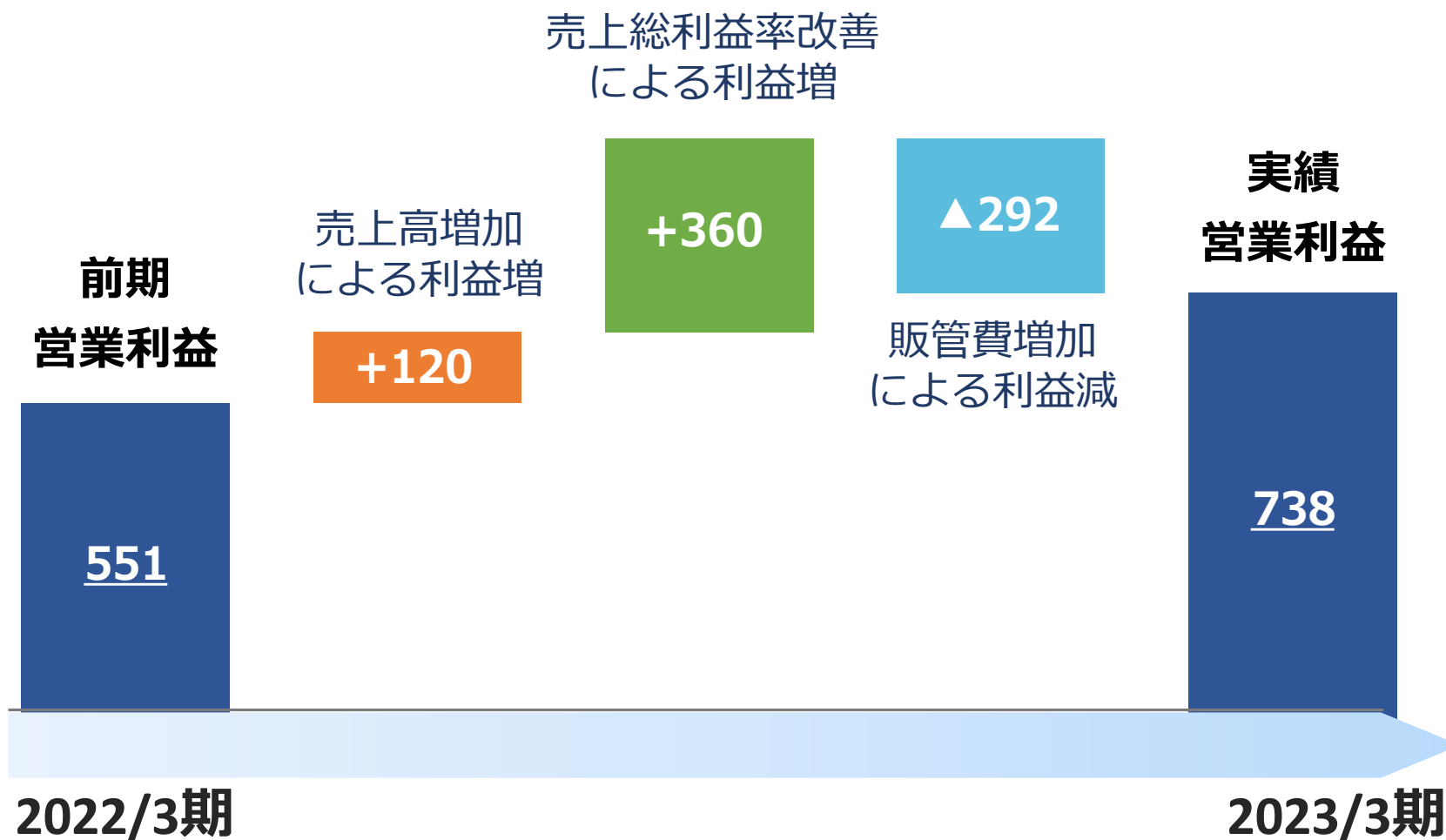
(単位：百万円)

	2022年3月期	2023年3月期	前期比 (下段:増減率)
売上高	18,427	19,173	+746 (+4.0%)
営業利益	551	738	+187 (+34.0%)
経常利益	755	921	+165 (+22.0%)
当期純利益	556	482	△73 (△13.2%)

■ 当期純利益は、投資有価証券評価損(186百万円)計上等により減益

営業利益変動要因

(単位：百万円)



事業区分別（セグメント別）業績ハイライト

<システム開発事業>

(単位：百万円)

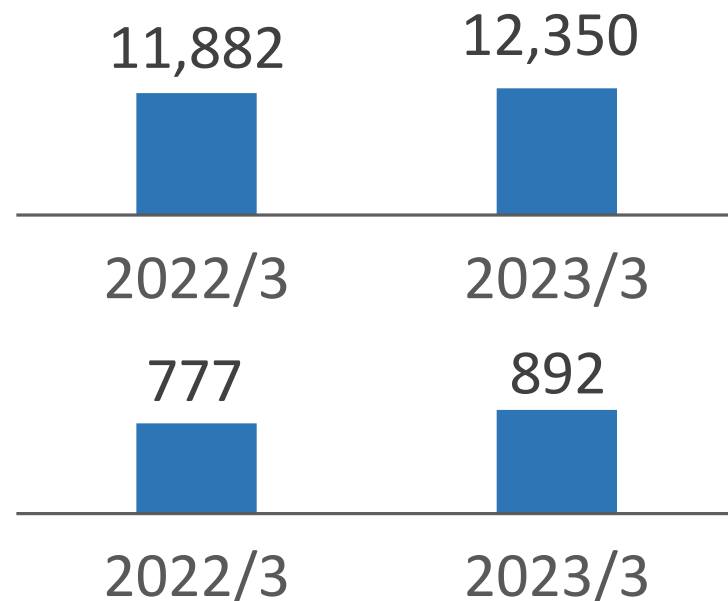
	2022/3	2023/3	前期比
売上高	11,882	12,350	+3.9%
営業損益	777	892	+14.8%

売上高

公共系、通信系などの大型請負案件の受注が堅調に推移
前期受注の官庁系、運輸系大型請負案件の開発が進捗し売上計上

営業損益

売上高増加および利益率改善により増益



事業区分別（セグメント別）業績ハイライト

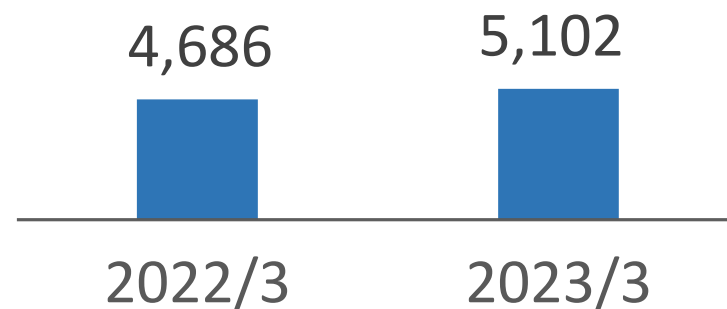
< S I 事業 >

(単位：百万円)

	2022/3	2023/3	前期比
売上高	4,686	5,102	+8.9%
営業損益	△194	1	—

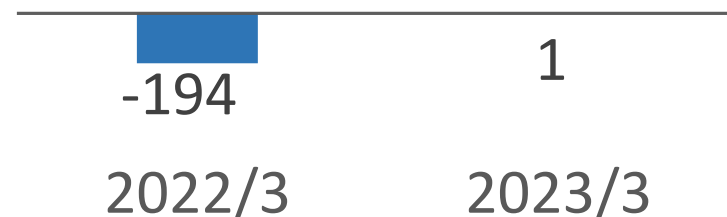
売上高

民需向け基幹システム構築案件が堅調、インフラ基盤構築含む案件拡大
Biz/自社開発テンプレートが堅調



営業損益

売上高増加および不採算案件の収束などにより改善



事業区分別（セグメント別）業績ハイライト

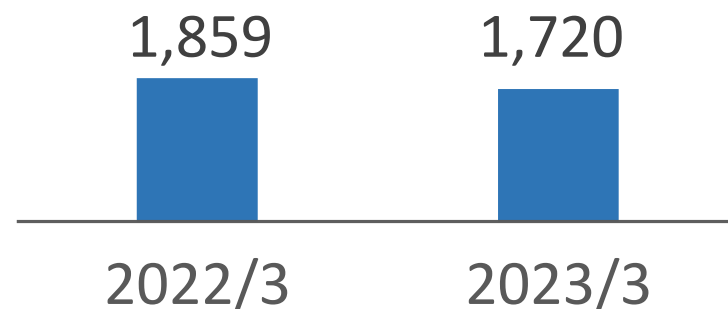
<その他事業>

(単位：百万円)

	2022/3	2023/3	前期比
売上高	1,859	1,720	△7.4%
営業損益	△7	△125	—

売上高

サポートサービス系、販売系が
軟調に推移し減収



営業損益

売上高の減少、コンサルティング
営業の体制強化による販売費増加
等により損失計上



Biz/テンプレート販売でさくら情報システムと協業開始

2022年10月、さくら情報システム株式会社にて当社の IT事業者向け「プロジェクト採算管理・役務購買統合テンプレート for Biz/」を活用したERPソリューションの提供を開始

IFSジャパンとパートナーサクセスプログラムを締結

2023年1月、IFSジャパン社とパートナーサクセスプログラム「Partner Success Services」を締結
IFS Cloud提供拡大に向け、エンジニアの育成強化

キーウェア東北がいわぎんリース・データから承継業務を開始

2023年1月、キーウェア東北株式会社(連結子会社)が、いわぎんリース・データ株式会社のシステム部門の事業を承継し業務を開始



2. 2024年3月期 事業方針

中期経営計画「Vision2026」概要

5カ年中期経営計画(2023年3月期～2027年3月期)

「Vision2026」

▶ 基本方針

I	<p>基盤事業の質的転換</p>	<p>プロダクト・クラウドサービスの活用拡大 請負案件の受注拡大 特定チャネルJEIS、KEL、CMJ*との連携強化 不採算プロジェクトの抑制</p>
II	<p>プライムビジネスの拡大</p>	<p>プライム顧客の拡大 営業力・提案力強化(コンサルタントの育成等) ソリューション提供力強化</p>
III	<p>新領域へのチャレンジ</p>	<p>新領域への参入 (サイバーセキュリティ領域、デジタル金融領域等)</p>

2027年3月期目標値

売上高	240億円
営業利益	14億円
営業利益率	6.0%



Phase2

基盤事業・新規領域の成長拡大

Phase1

事業基盤の強化・再構築

DX加速によるIT投資需要の継続 ～2026年度見通し

*JEIS :株式会社 J R 東日本情報システム
 CMJ :キヤノンマーケティングジャパン株式会社

KEL:兼松エレクトロニクス株式会社

DX支援の強化に向けた取り組み(1)

PROVISION デジタルトランスフォーメーションの実現を支援する キーウェアのトータルソリューション

DXの準備フェーズから、最新のデジタル技術を活用したビジネスモデルの変革まで、最適なDXソリューションでお客様のさらなる企業価値の向上を支援



DX支援の強化に向けた取り組み(2)

プロダクトやクラウドサービス等の活用拡大

社会やお客さまのDX実現を支援

短納期化・内製化・低コスト化・品質確保を実現

プロダクトやクラウドサービス等の活用・連携

プロダクト

SAP、Bizf
IFS

ローコード開発

WebPerformer
Ab Initio
Mendix

ノーコード開発

ASTERIA Warp

クラウド基盤

ServiceNow
Salesforce

活用拡大

フルスクラッチ開発

豊富な業種・業務ノウハウ

×

多種多様なITスキル

<システム開発事業>

／ 本年度見通し

- ・ 公共系を中心に大型請負案件の需要増加、既存顧客からの需要が堅調
- ・ ローコード開発、ServiceNowを活用した開発の需要増加

／ 事業方針

- ・ 大型請負案件の完遂、QCDの徹底
- ・ 新規大型請負案件の受注獲得に向けた早期提案および部門・グループ横断的な体制構築
- ・ 既存顧客(チャネル)の新規領域へ参画
- ・ ローコード開発、クラウドサービス等の技術者育成、新規顧客・新規領域への展開拡大



<SI事業>

／ 本年度見通し

- ・ DX推進や老朽化したITシステムへの対応のため、民間企業の基幹システム構築需要が継続
- ・ オンプレミスからクラウドへの移行需要が継続

／ 事業方針

- ・ ERP(SAP、Bizf、IFS等)を活用した基幹システム構築案件の受注推進
- ・ 基幹システム開発からインフラ領域までトータルなシステム基盤構築の提案推進
- ・ DX実現に向けたファーストステップ支援(業務最適化コンサルティング・デジタル化等)を通じた新規顧客開拓を推進





3. 2024年3月期 業績予想

2024年3月期 通期業績予想

(単位：百万円)

	2023年3月期	2024年3月期	
	実績	予想	前期比
売上高	19,173	20,000	+4.3%
営業利益	738	800	+8.3%
経常利益	921	1,000	+8.5%
当期純利益	482	700	+45.0%



4. 株主還元

株主還元

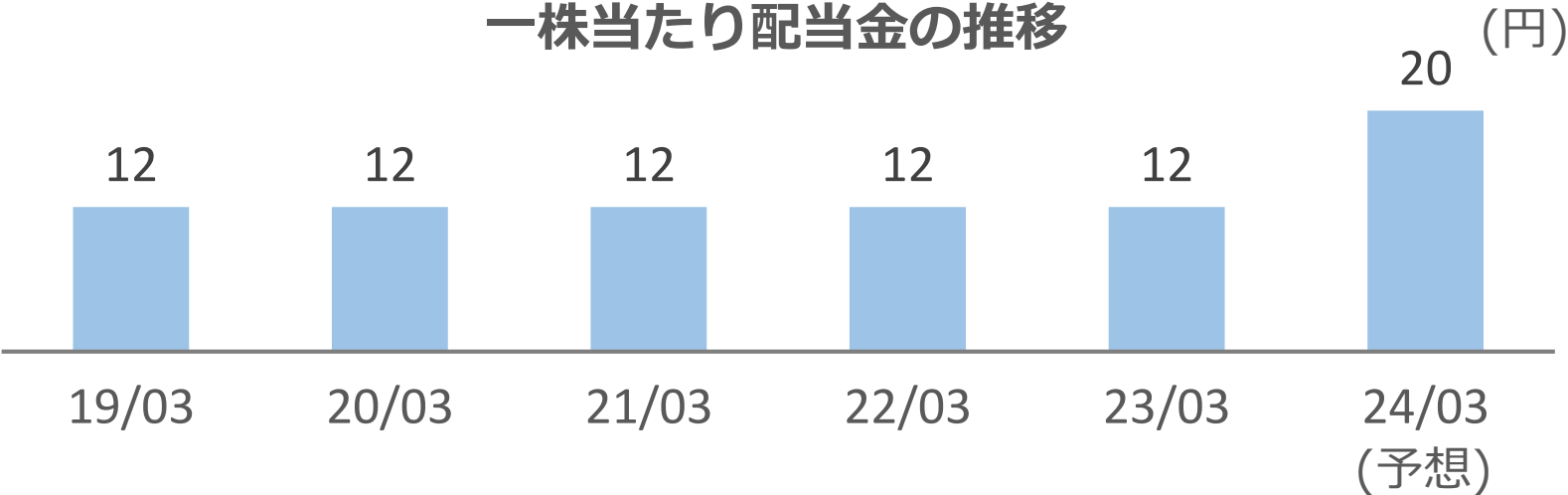
基本方針

株主の皆様への利益還元を経営上の重要課題の一つとして位置づけ、株主の皆様へ期間業績に応じた適正な利益還元を目指し、最終利益に応じて配当する業績連動型配当を実施しています。

一株当たり配当金

2023年3月期(実績) 期末配当 12円
 2024年3月期(予想) 期末配当 20円

一株当たり配当金の推移



御清聴いただきありがとうございます



お問い合わせ

E-Mail : ir@keyware.co.jp

TEL : 03-3290-6802

※掲載されている会社名と製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

本資料に記載された意見や予測につきましては、資料作成時点での弊社の判断に基づき作成したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。また、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績や結果とは異なる場合があります。



5. 參考資料

社名	キーウェアソリューションズ株式会社		
事業内容	1. システム開発事業 (アプリケーションシステムの構築に関する業務、および、インフラ関連のシステム開発に関する業務) 2. 総合ITサービス事業 (システムインテグレーション業務/サポート・サービス業務/販売業務/パッケージ業務)		
代表者名	代表取締役社長	三田 昌弘	
設立	1965年5月		
資本金	17億37百万円		
売上高	191億73百万円 (2023年3月期・連結)		
従業員数	1,262名 (2023年3月末現在・連結)		
主要法人株主	株式会社HBA 兼松エレクトロニクス株式会社 住友生命相互保険会社	株式会社JR東日本情報システム キャノンマーケティングジャパン株式会社 株式会社三井住友銀行	(2023年3月末現在)
連結子会社	キーウェアサービス株式会社 キーウェア西日本株式会社 株式会社オーガル	キーウェア北海道株式会社 キーウェア九州株式会社	キーウェア東北株式会社 株式会社クレヴァシステムズ

事業領域

情報技術に関する全てを事業領域とします。

企業風土

個人の個性と能力を発揮する事に価値を置きます。

社会的役割

創造性に富んだ情報技術によってお客さまの要求を超えたソリューションを提供し、お客さまの夢・理想を実現させ、豊かな社会の発展に貢献します。

企業スローガン

IT can create it.
クリエイティブな発想で、ITの持つ無限の可能性を現実のものとしします。

Phase1

技術者派遣、受託開発で実績と評価を獲得

- 1965年 ・コンピュータの総合コンサルティング会社として日本電子開発株式会社設立
- 1974年 ・事務処理ソフトウェアモジュール技術研究代表組合理事となる
・宇宙開発事業団試験ロケット打ち上げをソフト部門で支援協力、宇宙開発分野でのソフトウェア開発事業を確立
- 1988年 ・SI企業（第1期認定企業）として通商産業省より認可

Phase2

総合サービスによる高付加価値事業へ

ロータス、SAPジャパンなど最新技術を持つテクノロジーパートナーと協業を開始

- 1991年 ・ヘルプデスクサービス事業を開始
- 1994年 ・ソリューションセンターを開設しオープンシステム技術開発・蓄積に取り組む
・ロータスノーツなどのISV認定技術教育事業の開始
・SAPジャパン社との協業により、ERP（R/3）事業立上げ
- 1995年 ・フィールドサービスセンターを設置し、コンピュータ保守事業を立上げ
- 1999年 ・品質マネジメントシステム（ISO9001）を全社で認証取得 ・SAP R/3自社導入

Phase3

ITソリューションプロバイダーとして更なる進化

ISO9001、プライバシーマーク、ISMSを業界の先駆けとして、認証取得し、他社をコンサルティングできる体制を確立

- 2000年 ・プライバシーマーク制度認証取得
- 2001年 ・社名をキーウェアソリューションズ株式会社に変更 ・キーウェアサービス株式会社設立
- 2002年 ・SAPジャパンより、SAP AWARD OF EXCELLENCE 4年連続受賞
・情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）の認証を取得（本社）
- 2003年 ・情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）の認証を取得（グループ全体）
・キーウェア北海道株式会社、キーウェア西日本株式会社、キーウェア九州株式会社設立
- 2005年 ・環境マネジメントシステム（JISQ14001：2004（ISO14001：2004））認証取得
- 2006年 ・ジャスダック証券取引所に株式を上場 ・資本金を17億37百万円に増資
- 2008年 ・東京証券取引所第2部に株式上場 ・株式会社クレヴァシステムズを子会社化
- 2009年 ・東京証券取引所ディスクロージャー新人賞を受賞
- 2010年 ・株式会社NTTデータ イントラマートとBizjソリューション販売に関する特約を締結
- 2011年 ・IFSジャパン株式会社とビジネスパートナー基本契約締結
- 2013年 ・Bizj AWARD 2013 春において「Sales Partner's Award」を受賞
- 2017年 ・合併事業会社「株式会社イーテア」設立 ・Bizj AWARD 2017において「Excellent Award」を受賞
- 2018年 ・ASTERIA Partner Summit 2018において「ASTERIA Contribution Award 2018」を受賞

Phase4

ジャスダック、東証2部上場事業領域の拡大に向けて加速

クレヴァシステムズを子会社化

IT新時代に向けた積極的な取り組み

- 2019年 ・キヤノンITソリューションズ株式会社より「Web Performer 2019年度 エクセレントアワード」を2年連続受賞
・株式会社HBAと資本業務提携契約を締結
・テクノスデータサイエンス・エンジニアリング株式会社と資本業務提携契約を締結
- 2020年 ・Bizj AWARD 2020 において「Excellent Award」を受賞
- 2021年 ・兼松エレクトロニクス株式会社と資本業務提携契約を締結
・キヤノンマーケティングジャパン株式会社と資本業務提携契約を締結
・キヤノンITソリューションズ株式会社より「Web Performer 2021年度 エクセレントアワード」を受賞
・Bizj AWARD 2021 において「Excellent Award」を受賞
・株式会社オーガル設立 ・株式会社JR東日本情報システムと資本業務提携契約を締結
- 2022年 ・キーウェア東北株式会社設立